

Runner

ナッジ



中谷 和央 (左) と杉岡誠村長。連携して地域を盛り上げる姿勢を示した

地方創生(貧困対策、高齢化社会、金融教育)は、国内は多くの社会課題があり、そうした課題(向き合)解決しようとする取り組み、ナッジ(企業を登壇している。昨年クレジットカードと業界と参入した「ナッジ」(東京、千代田)は「利用が広げたい」という新しい顧客体験を提供、連携は企業だけでなく自治体にも広がっている。新しい金融体験に迫った。

地方創生もクレジットカードで 飯館村と協定、小松市に続き



会員証画面と特典画面。利用金額も一目で分かる

「無理しない」と魅力

飯館村の杉岡誠村長はナッジの魅力について「無理をしない」ということを挙げる。日常的な買い物やちょっとしたサービスなど、普段使っているクレジットカードやポイントカードを、ナッジという新しいカードで置き換える。ナッジの魅力は、利用金額も一目で分かることにある。また、利用履歴も一目で分かる。これは、利用者の行動を把握し、より良いサービスを提供するために役立つ。また、利用履歴を把握することで、利用者の行動を把握し、より良いサービスを提供するために役立つ。また、利用履歴を把握することで、利用者の行動を把握し、より良いサービスを提供するために役立つ。

組み合わせを構築している。また利用した金額に応じて、クーポンは特別なプレゼント、タレントなどの「クラブ」から好きなものを選択すること、利用自体がそのための応援につながる。スマートフォンアプリで申し込みや発行手続き、問い合わせなどが完結する。発行手数料は無料。勤務先や取引先などの情報だけでなく、性別やメールアドレスも共有。利用履歴はクレジットカードと異なり、AIなどを駆使して新しい仕

「無理しない」と魅力。飯館村の特産品や村内で使える割引券なども見据える。また、杉岡村長は「ブランド牛を復活させる中で、味見などをしてみたい。カードの利用者と一緒に、ブランド牛を作り上げる。他ではできない体験をしてもらいたい」と目を輝かせる。自治体との連携は石川県小松市に続いての事例。同市には市立大学も受け入れ、高校インターンも受け入れ、より多くの学生が対象とした金融

喜怒哀楽



小谷 和央

中小企業界の発表された「第三者承継支援総合パッケージ」によると、中小企業のM&Aは年間4000件弱に留まり、潜在的な承継者不在の中小企業数(1)77万者からしては十分であり、このうち25万までには黒字廃業の可能性のある約60万者の第三者承継を促すことを目標とした施策についても報告されています。

中小製造業の未来つくる

提供されるM&A会社が、マーケティングも活用になり、関連ビジネスも大きくなってきており、M&A会社の売り案件に、買い手が簡単にアクセスでき、より広い範囲で売り案件の情報を手でできます。このような状況下で、高い成長が見込める分野、収益性が高い分野の売り案件には、多数の買い手が群がり、買取価格が跳ね上がる。一方、買取後の経営(PMI)の難易度が高い分野の売り案件には、買い手がつきにくく、売手の希望売却価格と買い手の希望買取価格が大きく乖離するケースが多々見受けられ、M&Aを通じた事業承継が進まないという状況となっている。

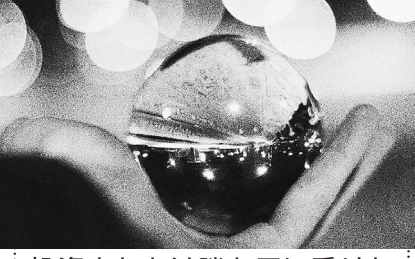
海外「銀行サービス」はいま

フィンテック最新事情(261)

K.Namba

「ゼロからIPO」もはや過去のもの

金融サービスや銀行のデジタル・ディストラクションが始まって10年以上が経過した。昨年フィンテックによるベンチャーキャピタルからの資金調達額が120億ドルに達し、2020年通年の約3倍とすべての記録を塗り替えた。現在、世界のフィンテック・ユニコーンは500社に迫る勢いだ。しかし、22年に入り、パンデミック、ロシアのウクライナ侵襲、それに伴う高インフレの三重苦により、中央銀行は一連の利上げを継続した。金融にプレキをかけるように、22年上半期のフィンテック資金調達に陰りが見え、フィンテックは死んだといった情報も流れるなど噂される中、興味深い報道があったので概要を紹介する。



投資家たちは勝ち馬に乗りたいため、出資先は絞られる

22年6月末までの3ヶ月間は、フィンテック・ファンディングのシフトを表している。22年第2四半期の未公開企業の資金調達、IPO、M&A取引を含むディール活動総額は、21年第3四半期のピークから67%減少した。「そうは言っても、フィンテックは依然として276億ドルを調達している。これは非常に大きな数字だ。確かに、四半期ベースでは20年第4四半期(118億ドル)以来最低で、21年第2四半期(396億ドル)からは30%以上減少しているが、絶対水準

で見れば、これはビッグ・アイデアに資金を提供できる大金であることに変わりはない。英国を見ると、2022年上半期に世界的に投資が減少したにもかかわらず、フィンテック部門は前年同期比24%増を記録している。次に、8月31日付の記事では、「22年に悲観的なスタートを切った後、今年後半には潮目が変わり、ここでは、パフォーマンズよりも認知が重要となっている。ほんの1、2年前まで現金化を急ぐ傾向にあった投資家も、『様子見』モードで、最も将来性のある企業はどこか、その世代を代表する企業に成長するために何かが必要かを見極めるために業界を回っている。」「しかし、重要なことは、現金がまだそこにあるというところ。世界のPEファンドは12億ドル以上のプライベートエグジット(業界用語で未投資資金のこと)を抱えている。フィンテックはここ数年、インバウンドのエクシシステムにおいて重要な位置を占めるようになっており、今後、投資可能な資金のかなりの部分がフィンテックに集まることになるはずだ」と指摘する。

吉田 茂



岩村家老の丹羽頼家へ嫁いだ子供ができて、離縁されて戻ってきた。傷心の娘に対して「一斎は」の文字を書いて与えた。当時は、腹は借物、と云って子供を連れて家を存続させるのが第一の役目だった。子供たちのうち、長男・渥は先に述べたように出家して、田家の養子に入ってしまった。次男の其次は早世、三男・楓(号は立軒)は、一斎の古くからの友人である医師・杉本樗園(忠後の娘・吟と結婚)とて学者となり、一斎の後を継いで昌校の塾頭となっている。渥と吟の間には、男女七女が生まれる。そのうち長男の善吉は鳥類の研究家として、学者の道を歩んだ。ここにも一斎のDNAが表れている。

一斎の家系

一斎の家系。一斎の13人の子供のうち、次男と女子4人は早世している。8人が何となくつながら成長した。当時の乳幼児が死する割合は衛生状態の悪さから、大変高かった。これはやむを得ないことである。残ったうち女子は6人だが、彼女たちは何となく相手を見つけてお嫁にやるのは大変な努力が要した。

今なぜ必要なのか

企業経営ではデジタルデータの活用が、その企業価値を左右する時代。これは米国のGFA(A)グループ、アマゾン、フェイスブック、メタ、アップルや中国のBAT(バイドゥ、アリババ、テンセント)といった一部のテック・ジャイアントだけの話ではなく、日本企業にもその図式が当てはまる。本書は、データ活用が企業経営に求められるのか、その意義とともに、日本企業に内在するデータ活用の一壁を明らかにする。著者の保科学氏は米IT企業

薄著語れる一冊

夏はウィスキーのハイボール、冬は焼酎の梅酒。これが評者の晩酌の定番。懇話会に所属しているが、「コロナが飲みが増えている。お腹周りがどうにも気になる。嘆いているのは私だけではないはずだ。最近、アルコールの新規参入話に触れる機会が増えてい

お酒はこれからどうなるか

都留康著 平凡社新書(990円) 投資機能的にも思える国産ウィスキーの高騰と日本酒文化は、これに手を打ったが本音。地ビールはあちこちにできるのに日本酒の新社社はこんな聞かない。なぜか、立ち方はかなり法規制。当局は酒税法パッケージに戦後一度も新規の酒造製造免許を認めなかった。既存業者の保護が理由だ。対してビールは年間製造数量を引き上げる規制緩和を進めてきた。そのため地ビールが起った。そのためほとんどの合点が、国内で免許が下りない海外で造ってしまえ。そんな気持のあるベンチャーまである。ほかにもワイン、梅酒、ジン

佐藤一斎の悩み

佐藤一斎の悩み。一斎の13人の子供のうち、次男と女子4人は早世している。8人が何となくつながら成長した。当時の乳幼児が死する割合は衛生状態の悪さから、大変高かった。これはやむを得ないことである。残ったうち女子は6人だが、彼女たちは何となく相手を見つけてお嫁にやるのは大変な努力が要した。

データドリブン経営改革

保科学世著 日本経済新聞出版(2200円) 日本企業にもその図式が当てはまる。本書は、データ活用が企業経営に求められるのか、その意義とともに、日本企業に内在するデータ活用の一壁を明らかにする。著者の保科学氏は米IT企業

週刊ベストセラー

総合	文庫
①WORLD SEIKYO VOL.3 (聖教新聞社) 227円	①名乗らじ 空也十番勝負(8) (佐伯泰英) 740円 文芸春秋
②パンドロぼう おにぎりぼうやのたびだち (柴田ケイコ) 1,300円 KADOKAWA	②小説 すずめ戸締まり (新海誠) 680円 KADOKAWA
③ハヤブサ消防団 (池井戸潤) 1,750円 集英社	③大名倒産(上) (浅田次郎) 780円 文芸春秋
④ストレッチーズ スーパント (454円 772円(電子版))	④希望の糸 (東野吾吾) 880円 講談社
⑤デスマーチからはじまる異世界狂想曲(26) (愛七ひろ) 1,300円 KADOKAWA	⑤傲慢と善良 (辻村深月) 810円 朝日新聞出版
⑥80歳の壁 (和田秀樹) 900円 幻冬舎	⑥落日 (渡かみなえ) 780円 角川春樹事務所
⑦その本は (双葉園) 1,500円 ポプラ社	⑦大名倒産(下) (浅田次郎) 780円 文芸春秋
⑧COM.YUTA PERFECT 100 STYLES (コムドット) ゆうた 1,600円 KADOKAWA	⑧沈黙のパレード (東野吾吾) 810円 文芸春秋
⑨立石俊樹 2nd写真集 [Vidoror] (立石俊樹) 3,000円 朝日新聞出版	⑨百花 (川村元氣) 730円 文芸春秋
⑩新型エクストレイルのすべて (527円 三栄)	⑩生命の略奪者 天久鷹央の事件カルテ (知念実希人) 630円 新潮社



(22)

みのごさく にしほりみほご画